

機械器具 39 医療用鉗子
一般医療機器 鉗子 10861001

直腸把持鉗子

【警告】**

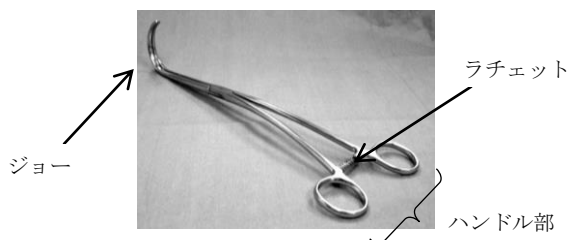
- ① 本品表面に衝撃や振動を用いて印を刻み込む等の二次加工はしないこと。[折損の原因となる]
- ② 本品を変形あるいはキズをつける等の粗雑な取扱い及び改造を行わないこと。[製品の寿命を著しく低下させる]

【禁忌・禁止】**

- ① 本書記載の【使用目的又は効果】以外の使用目的には使用しないこと。[誤った使用法は本品の折損その他予期せぬ事象を招くおそれがある]

【形状・構造及び原理等】**

本品はジョー部分が大きく曲がった全長約 290mm の鉗子であり、ステンレス鋼製の再使用可能な器具である。ジョー部分は組織を非外傷的及び確実に把持する為に鋸刃状（ドベキヤ）になっている。ラチェットをかけることで把持状態の維持が可能である。



組織・体液に接触しうる部位の原材料**：ステンレス鋼

【使用目的又は効果**】

本品は消化器外科領域などで腸管を把持するために使用する。又、直腸の洗浄を必要とする手術において、直腸を把持する為に使用する。

【使用方法**】

本品は出荷時未滅菌のため、使用前に使用者側で必ず洗浄・滅菌をした上で使用すること。*

操作方法

- (1) 滅菌済みの本品を無菌的に取り出す。破損防止のため本品を清潔区域に投げ出さないこと。
- (2) ハンドル部を把持してラチェットを開放しジョーを開く。
- (3) 本品を腸管に直角にかけ、ゆっくりと握り閉鎖する。
- (4) ラチェットが掛るのを必ず確認する。
- (5) 自動縫合器を併せて使用する場合は、先端（ジョー部）に沿わせるように自動縫合器を挿入する。
自動縫合器をクローズする際、本品を挟み込まないように注意すること。
- (6) 使用後はラチェットを開放し、腸管からリリースする。

洗浄・滅菌方法の代表例

以下に洗浄・滅菌方法の代表例を示したが、洗浄滅菌に当たっては院内の規定に従うこと。

洗浄方法 (1) 製造元の指示に従い、中性洗剤を準備する。

- (2) 柔らかい毛のブラシあるいは柔らかく清潔な布で洗浄液に浸したまま手で本品を洗浄する。溝、継ぎ目、接続部分などは念入りにブラシで洗浄する。
- (3) 温水で少なくとも 1 分以上流し、十分すすぐ。
- (4) 洗浄後、目視にて血塊等がないことを必ず確認する。
- (5) 清潔な柔らかい布を用い、完全に水気を拭き取る。

滅菌方法 (1) 高圧蒸気滅菌

- 1) 重力差空気除去滅菌

方法：包装、時間：15 分、温度：132℃

- 2) 強制空気除去滅菌

方法：包装、時間：3 分、温度：132℃

【使用上の注意】**

1. 重要な基本的注意

- (1) 自動縫合器の使用に際しては、自動縫合器の添付文書の手順に注意に従うこと。

【保守・点検に係る事項】**

- ・日常点検及び使用前点検を行い、正常に作動していることを必ず確認すること。
- ・本品の使用後は血液、体液が乾燥する前に直ちに洗浄を行うこと。
- ・血液や残片物を取り除き、稼動部分が全て十分に洗浄されているかを確認すること。また、洗浄時に他の器具との接触による損傷をさせないように配慮すること。
- ・洗浄後は直ちに乾燥させ、湿った状態で必要以上に長時間放置しないこと。ステンレス鋼は錆びにくい材質ではあるが、保存条件によっては腐食が発生することがある。*
- ・本品が漂白剤、消毒液等の塩素及びヨウ素を含む溶液にさらされた場合には、直ちに流水で洗浄すること。

この添付文書は、本品を安全にご使用いただくためのものです。この添付文書をよくお読みになり、内容を十分ご理解された上でご使用ください。

【製造販売業者又は製造業者の氏名又は名称及び住所等】

〔製造販売業者〕

高砂医科工業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-2

お問い合わせ窓口：

TEL:03-3815-0156 FAX:03-3815-5361